

申請書番号	X X X X X X X X	有効期間満了日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日
手帳番号	X X X X X X	認定疾病	中皮腫
患者氏名	環境 太郎	性別	男性
		生年月日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

- 認定疾病について、診断から本診断書の作成日までの経過の詳細を時系列にそって記入をお願いいたします。
- 〇〇年〇月に診断、〇〇年〇月～〇〇年〇〇月に化学療法を行ったなど

- 術後の呼吸機能障害のため、%肺活量が〇〇、%一秒量が〇〇%まで低下。独歩による外出が困難であり、現在は在宅酸素療法を実施中。今後、化学療法と併せて follow up していく予定。

医師氏名 ○○ ○○

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

【続発症について】

認定疾病に付随する疾病等（続発症）であって、日常生活に相当の制限が加わり、常に医師の管理による治療が必要であるようなものについては、当該認定疾病と一体のものとして取り扱われます。個々の事例において、ある疾病等が続発症であるか否かについては、医学の経験則により、認定疾病と相当程度の関連性があるか否かによって判断されることとなりますが、具体的には、次のような疾病等が考えられます。

(1) 中皮腫及び肺がんの続発症の例

① 認定疾病の経過中又はその進展により当該認定疾病との関連で発症するもの

- ・中皮腫又は肺がんの遠隔転移、肺がんの癌性胸膜炎、癌性リンパ管症等

② 認定疾病を母地として細菌感染等の外因が加わって発症するもの

- ・肺炎、胸膜炎等

③ 認定疾病の治療に伴う副作用や後遺症

- ・薬剤性肺障害、放射線肺炎、術後の呼吸機能障害等

(2) 石綿肺及びびまん性胸膜肥厚の続発症の例

石綿による肺がん、中皮腫、細菌感染症、肺性心、石綿肺の治療に伴う副作用や後遺症等